

4-1-16 医療情報室

相澤志優

1. 概要

医療情報室の業務内容は、電子カルテの管理だけではなく、当センターの診療・管理の円滑な運用や臨床研究の支援など多岐にわたる業務を行っている。また、成育医療ネットワークにおける情報の収集・発信なども積極的に行っている。

本年度は電子カルテシステムを稼働してから3年目となり、システムの運用も定着しつつあり、診療に支障を与えるような大きな障害発生もなく順調に稼働している。今後は、インターネット環境のセキュリティなどを強化し、病院情報システム全体的な円滑運用に努力したい。また蓄積されたデータを用いて、病院の経営管理や臨床研究などに貢献していきたいと考えている。

人事では、開院以来室長であった大原が2月28日を持って筑波大学へ転出した。

2. 活動内容

2.1 病院経営管理や臨床研究など支援システムの構築および活用

電子カルテシステムおよび医事会計システムに蓄積されたデータを用いて病院経営管理や臨床研究など利用する長期診療データベースを構築・稼働している。(a)病院経営管理：各種統計(診療科別外来・入院患者数、救急受診者数、分娩数、手術数など)を日報・月報単位で集計している。また、診療科別や疾患別に、病院経営管理に必要な分析も定期的に行っている。(b)臨床研究支援：研究プロジェクトに対し、必要なデータを提供できるようにしている。

2.2 病院情報システムの維持管理

(a) 電子カルテの管理

電子カルテシステムの運用管理、利用者のID登録管理、各種機能改善への検討。

(b) 院内向けHPの管理運営

院内イントラネットHPの運営管理、掲載作業などを行う。(平成16年度依頼件数：135件)

(c) 院内情報機器IPアドレス管理

IPアドレスの発行、コンピュータ周辺機器の増設、病院ネットワークへの接続など管理

(d) インターネット環境のセキュリティを含む維持管理 (24時間体制で対応)

2.3 診療情報2次利用の環境整備

(a) 診療情報後利用のため、データ抽出ツールの作成

現在、このツールを利用して抽出条件を指定し、医事レセプト、各種テンプレート、助産録、バイタルプレグノグラムなどデータベースから必要なデータを抽出することができる。

(b) プロGRESSノート検索ツールの作成

キーワード、期間など検索条件を指定し、関連情報を検索することができる。

(c) 暗号化ツールの作成

個人情報保護のため、元データの患者IDを暗号化することによって、個々の個人情報は推定不能となる。

(d) 利用者のニーズに応じて診療情報を提供

平成16年度では、「診療情報の2次利用」の利用申請が38件であった。診療・臨床研究などに診療情報を提供している。

2.4 職員への情報研修・教育

定期的に(1ヶ月1回)情報システム研修を実施している。また、情報倫理・医療安全研修も行っている。

2.5 病院情報システムの紹介

平成16年度では、当センターにおける病院情報システム、電子カルテシステムなどの見学・視察

として、国内外の13施設の見学者を受け入れた。

2.6 電子カルテ上の臨床試験実施への対応

試験モニタリングへ協力し、随時に必要な資料を打ち出し、臨床試験を支援している。また、試験テンプレートの新規登録などメンテナンス作業を行っている。

2.7 国立病院ネットワークを用いて臨床データ収集システムの構築および運用管理

国立病院ネットワーク（HOSPnet）を用いて臨床データ収集システムを構築した。現在、「肝疾患死亡者調査登録システム」等が稼働している。また、各システムのメンテナンス作業も行っている。

2.8 HOSPnet サブセンター成育の運営管理

(a) HPの作成およびメンテ作業

その主な内容としては、国立病院（約150施設）における院長名簿、医師名簿、施設一覧、各協議会名簿などを作成・更新している。

(b) メーリングリストの作成および運用管理

国立病院における院長協議会や研究班などのメーリングリストを作成し、そのメンテナンスを行っている。現在、計92個のメーリングリストを開設している

(c) 標準マスターの提供

病名マスター、医薬品マスター、医療材料マスターなどを提供している。

3. 研究活動

3.1 成育医療研究委託事業：成育医療の長期追跡データの構築に関する研究（出生コホート研究）

（主任研究者：高山ジョニー、分担研究者：相澤志優）

本研究は、当センターで生まれた新生児を、胎児から生後6歳まで長期に渡ってフォローする。診療データや意識調査データなどの継続収集と長期追跡調査から、妊婦の出産に関する環境、心身の変化、疾患の有無、それらがどのように子供の成長に関係するか、また病気の発生に影響を与えているかを調査する。また、本研究では、電子カルテに蓄積されたデータから妊娠・出生・幼児まで長期追跡に必要なデータを取り出し、コホート研究用データベースを構築している。

3.2 成育医療研究委託事業：先天代謝異常症症例における長期予後追跡システムの構築

（主任研究者：松原洋一、分担研究者：大原信、研究協力者：相澤志優）

本研究は、先天代謝異常症患者の成長発達、医学的予後、社会的予後、QOLについて、多面的かつ長期的に追跡するシステムを構築し、今まで不明であった長期予後を明らかにし、今後の患者の健康管理・生活支援に役立てていこうとするものである。

3.3 成育医療ネットワークを用いて診療情報共有化に関する研究（日本オラクルとの共同研究）

複数施設での診療連携や臨床研究データの参照・検索を可能にするには診療情報の共有化が必要である。しかし現状では各種コード（病名、医薬品など）は各施設での固有コードを採用しているため、データの共有・統合が困難となっている。そこで、本研究は病名コードを施設内固有コードから標準病名にマッピングするツール(TMS)を用い、施設間の診療データを共有管理するデータベースを構築するという手法を検討した。

3.4 スタンフォード大学のLucile Packard Children's Hospital との共同研究

Maternal weight gain and neonatal outcomes という研究テーマとして、相澤がアメリカのスタンフォード大学を訪問し、「Maternal weight gain」研究チームの先生方とディスカッションして、関連情報を交流し、本研究での共同研究のご協力を得た上で調査方法、分析手法などについて検討した。また、アメリカ在住の日本人の妊婦、新生児データを収集し、日米比較研究も行う予定である。その結果により日本人における最適な妊娠中の体重増加目標値が期待できる。

3.5 学会などの研究活動

関連学会誌へ研究論文の投稿及び学会発表等。